

加賀市議会だより

こんにちは!

一色しんいち

いっしき

です

2025年11月1日 第13号

発行 加賀市議会議員 一色 眞一

☎&FAX 74-2312 携帯 090-3297-3625

E-mail: taigers@car.ocn.ne.jp URL: http://issshiki.jcpweb.net/



f フェイスブック



LINE 公式LINE



ホームページ

～ 9月議会では次のことを質問しました ～

- ・物価高騰から市民の暮らしを守る対策について
- ・物価高騰対応水道料金基本料金免除事業について
- ・害用備蓄品購入事業について
- ・通学路の街灯について

九月議会の質問です

物価高騰から市民の暮らしを守る 対策について

一色

①国は物価高騰対策として臨時交付金を用意している。その交付金を活用して、国民健康保険税の一世帯二万円の引き下げや熱中症予防に夏場のエアコンの電気代補助や高齢者世帯のエアコン購入補助など求める。

②ひとり親世帯や低所得者世帯に、お米券(2kg相当)や生活支援金の支給を求める。

③市民への福祉サービスを後退させないためにも、経営が大変な病院や訪問介護事業者等への支援を求める。

*肥料や飼料、燃料代の高騰に苦しむ農家への支援を求める。

*トランプ関税や景気悪化で経営が苦しい中小事業者への支援を求める。

【①答弁…総務部長】

これまでも子育て世代への負担軽減策として、学校給食費・保育料の無償化などの支援をしてきた。住民税非課税世帯には現金給付で、生活の下支えをしてきた。給食費への補填に「推奨事業メニュー分」を充てる。

【②答弁…市民健康部長】

家庭環境が異なることから、それぞれ実情

に見合った支援に努める。様々な相談窓口の周知と関係諸団体との連携を図る。提案のお米券や支援金については市の財政状況や国の動向を見て慎重に検討する。

【③答弁…総務部長】

物価高騰は市民のみならず、各分野の事業者等にとっても、影響を受けていることは認識しているものの、市民生活を優先すべきと考え、水道基本料金免除を考えた。一方、事業者へはそれほど深刻ではなく、支援が必要とは考えていないが、今後とも動向は注視していく。

■一色の一言

温泉駅前の大規模整備事業には惜しみなく多額の税金を投入するのに、市民の命と暮らしにはわずかししか回さないのは問題だ。

物価高騰対応水道料金基本料金 免除事業について

一色

無料期間の三ヶ月は短いのではないかと。県内では、地震や豪雨で大変な思いをされた輪島市が四ヶ月だ。県外では、群馬県富岡市は五ヶ月。和歌山県御坊市は六ヶ月。岐阜県関市は四ヶ月の上、一般家庭と事業所も対象だ。加賀市は規模が小さいと言わざるを得ない。

第二面に続く

【答弁…総務部長】

三ヶ月の免除期間は、市の財政状況を総合的に考慮したもので、今実施できる物価高騰対策として、最も効果的だと判断した。

■一色の一言

地震と豪雨で大変な思いをされた輪島市が四ヶ月だ。加賀市おかしくありませんか？

災害用備蓄品購入事業について

一色

今回提案の追加備蓄は、県が見直した地震被害想定から見ても過小で、令和六年能登半島地震を踏まえて政府が出している方向性から見ても過小という、二重の過小性がある。県が見直した地震被害想定では、福井平野東縁断層帯による地震被害は「ライフラインがほぼ市内全域で使えない」状態を想定している。また、一週間後の避難者は三万九八一四人を想定している。この被害規模は、加賀市でも、「令和六年



能登半島地震で輪島市や珠洲市で起こったような状況」になる。どんな対策をとるのが加賀市に問われている。六月定例会で、市当局は「数日間の備蓄があり、その間に流通備蓄の協定先の事業所は全国ネットを有する事業所だから必要数は確保できる」とし、自治体の応援協定先を挙げたが、私は、「被災した加賀市に備蓄品を運ぶ手段が絶たれた場合の担保が用意されていない」と指摘した。能登半島地震から何を学んだのか。また、こうした備蓄品のロスを防ぐためにも、流通ローリングストックを取り入れて、備蓄品のロスを防ぎつつ、十分な品数を用意することが必要だ。

【答弁…総務部長】

今定例会で予算計上した備蓄品は、今年度は発災初日で必要となる水、食料、携帯トイレ、液体ミルク、アルミシートを一日分確保するが、二日、三日分については、来年度予算にて必要数を確保する。併せて、市民の皆様には自助によるご家庭での備蓄も進めていただきたい。賞味期限が迫る備蓄品は、市総合防災訓練や地区防災訓練に参加された方々に配布したり、防災教育のために学校給食で活用するなど有効利用する。また、フードバンクにも寄付するなど社会貢献にも寄与したい。

■一色の一言

災害は来年度まで待ってくれない。すぐにでも三〇五五分を確保すべきだ。

通学路の街灯について

一色

中学生議会で、通学路の街灯問題について、複数の学校から二年続けて質問が出たことを重視する。

文部科学省の中学校施設整備指針の防犯計画には、「生徒の通学路については、周囲からの見通しの確保や、防犯灯、街路灯等の設置により夜間照度を確保することが重要である。」と明記されている。また、文部科学省の「地域における通学路の安全確保の方策等」についての調査研究報告書」によれば、夕方



から夜間に向け、道路上における児童生徒が被害者となる身体犯被害が多いことや自転車の事故も多いことを指摘し、通学路の安全確保を強調している。

茨城県結城市では、「交通安全施設における通学路街路灯設置要項」を設けて、自治体が責任をもって街路灯設置を進めている。

昨年の中学生議会では、「道路照明灯が稲の生育に悪影響を及ぼした事例もあり、街灯をさらに明るくすることは慎重に考える必要がある」との答弁があったが、稲の出穂に悪影響を与えないLED照明が既に商品化されている。

加賀市の宝ともいうべき、子供たちの安全確保のため、早急に通学路の街路灯設置を進めるべきと考える。

【答弁・教育委員会事務局長】

昨年度の中学生議会での件は、県道の整備が進み、安全性が確保された。今年度については、通学路安全推進協議会の合同点検を踏まえ、街頭設置の可否について検討を進めている。引き続き、「通学路交通安全プログラム」に基づき、子どもたちの安全を確保するための最適な方法を検討・実施する。

市内各中学校において、通学用自転車のライトを確認するなど、安全に自転車通学できるための指導をおこなっている。

■一色の一言

文科省の通達や結城市の事例を、事前に伝えているのに、質問にまともに答えていないことから、教育委員会は、子どもの安全を真剣に考えていないことがわかる。



反対討論

以下三件について反対しました。

・議案第四五号

令和七年度加賀市一般会計補正予算

能登半島地震を教訓にすべきなのに、わずか一日分の備蓄で「良し」とする災害対策には愕然とする。能登半島地震から教訓を引き出したとしての補正予算だとすれば、災害に対する構えがなっていない。また、水道料基本料金無料三か月分はあまりにもお粗末だ。現在の社会状況は、低所得者層が食費・光熱費がかさんで消費を削らざるを得なくなっているだけでなく、年金生活の高齢者にとっても医療・介護の負担増は、生活費を切り詰めるを得ない状況だ。こうした市民の実態を知らなさすぎる。ドローンや空飛ぶクルマな

・議案第五一号

加賀市体育施設条例

予定している新室内プールの一般個別利用一回八百円に対して小松市は九ヶ月は三百円で、夏場七ヶ月は二百円だ。これだけ高いと敬遠する市民が出てくる。どれだけ素晴らしい設備を用意しても、使ってもらわなければ何にもならない。

・議案第五三号

令和六年度加賀市決算認定

私は令和六年度予算案には反対しており、その主な理由は次のとおりだ。
①北陸新幹線延伸に伴う事業費の大幅な積み増しと、人への投資・インフラへの投資という国の方針に、ただただ付き従うだけの予算案で、加賀市民に寄り添う予算になっていない。

②優良農地をつぶしてまで大規模商業施設を造る大型開発に邁進することが、今の加賀市に必要なのか。このことが街おこしにつながるか大いに疑問だ。

③北陸新幹線の加賀温泉駅開業がバラ色のよ
うな描き方をしているが、これまでのドル箱
的存在であった関西圏や中京圏の観光客が、
敦賀駅での乗り換えがネックになって遠のい

通学路が確保されました

湖北地区会館前の通学道路にはみ出した枝
の伐採を市にお願いしたところ、すぐ伐採し
ていただき、明るくなって、子どもたちも歩
きやすくなりました

伊切町や源平町の子どもたちが通る通学路
(歩道)は、道路わきに植樹されている草木
の枝が覆いかぶさり、子どもたちの登下校の
障害になっていました。湖北区長会も、市へ
要望していたそうです。

私は、写真を市担当課に見せて対処を求め
たところ、「わかりました。近々伐採します」
との回答でしたが、半月後、「伐採したので、
確認してください」と連絡がありました。お
願いで、わずか半月で伐採してくれたこと
に、感謝です。

ている。今一度、関西圏や中京圏の観光客を
取り込むことや、通勤や通学の足としての役
割を果たさせるよう、JRR西や国に対して、
在来線の確保を要求することを強く求める
と指摘している。

私の指摘したことが現実問題として加賀市
に重くのしかかっている。

Ⅱ編集後記Ⅱ



皆さまのご支援により、再選を果た
すことができました。引き続き「議会
だより」を皆さまにお届けできること
が何よりです。

市長が変わりますし、どのような政
策を打ち出してくるのでしょうか。

いずれにしても私はこれまで同様、
「市民の命と暮らし」を守るためにが
んばります。



皆様方には今後
とも、ご意見・ご
要望お寄せくださ
い。(シン)

